

電子写真の最上位
機種群を紹介

今回のシンポジウムで取り上げられる機種は、imagePRESS、NexPress、Xeikon、iGEN 4といった電子写真の最上位機種群が中心となっています。更に印字方式の市場適性を考えるにあたっては、電子写真とインクジェットなどの他方式との比較を含めた議論も盛り込むことで、より深く技術の特徴と市場適性について考察できるものと期待しています。電子写真技術者に限らず、イメージングに関連する幅広い分野の研究開発者の方々にも参加をお勧めいたします。

オンデマンド印刷
を実践体感

当日は、講師の方々からご提供いただいたプリントサンプルの展示をいたします。「こんなドキュメントまでデジタル印刷で作られているなんて！」と思わず言いたくなるような出力物を直接見ていただくことで、この事業分野の将来性を実感していただけるものと確信いたします。

さらには、オンデマンド印刷が実現するサービス価値向上を参加者の皆様に体感していただくための試みとして、**オンデマンドカラー印刷機による予稿集出力**を試行いたします。そのために、今回、参加者の皆様には**事前登録**をお願いすることにいたしました。趣旨ご理解の上、参加事前登録の手続きをお願いいたします。

■開催日時 **2009年11月27日(金)**

9:30~16:40 受付開始9:00~

■場所 発明会館(東京都港区虎ノ門2-9-14)

Tel: 03-3502-5499)

地下鉄銀座線「虎ノ門」駅3番出口徒歩5分

地下鉄「霞ヶ関」駅 A13番出口徒歩13分

■対象 複写機、プリンタ、印刷機その他イメージング関連分野に従事する研究開発者

■参加費 会員および維持会員 9,000円

非会員 16,000円、学生 2,000円

(会員証、学生証を提示願います)

■協賛 日本印刷学会

市場と技術の視点からデジタル印刷の可能性を探る

印刷業界で「パラダイムシフト」が叫ばれ始めたのは90年代末。オフセット印刷とデジタル印刷が部数とコストの損益分岐点の綱引きをしている間に、経済の仕組み自体が変わり、「端物」と呼ばれた小ロット印刷にも大きなビジネスチャンスが生まれています。本シンポジウムでは、新しい市場原理と最新の技術動向のバクトルをどう合わせていくべきかを考え、変貌目覚しいデジタル印刷産業の現状と将来を、技術と市場の2つの視点から議論していきます。

第1部は「印刷市場から見た製品技術」と題して、米国の先進的なデジタル印刷ビジネスの事例紹介を皮切りに、デジタル印刷を短納期生産、高付加価値出力の観点から新たな価値の創出につなげた国内事業者の方々に講師に、ビジネスの側から製品技術に何が求められているのかを探っていきます。

第2部では逆に「製品技術から見た印刷市場」と題して、デジタル印刷市場に製品やサービスを提供する立場の方々に講師に、製品技術を通じてお客様のビジネスにどのように関わってきたのか、各社の技術の特徴と合わせて議論し、今後のデジタル印刷技術が目指すべき方向性を考察していきます。

PROGRAM

	時間	題目	講演者	所属
第1部：印刷市場から見た製品技術				
1	09:30-10:30	米国市場にみるデジタル印刷の最先端ビジネス	相馬謙一	JAGAT
2	10:30-11:10	キヤノン imagePRESS C7000VP による顧客満足度向上への取り組み事例の紹介	鎌田晋一	シナジーコミュニケーションズ
3	11:10-11:50	フォトアルバムに求められるプリント技術	黒岩信司	錦明印刷
	11:50-12:05	オーサースインタビュー		
	12:05-13:00	昼食		
第2部：製品技術から見た印刷市場				
4	13:00-13:45	EP & I J デジタル印刷機の可能性	内田哲雄	コダック
5	13:45-14:30	クオリティ、スピード、生産性 - Xeikon デジタル印刷機 デジタル印刷機の進化とお客様のビジネスへの影響	村松孝義	パンチグラフィックス
	14:30-14:45	オーサースインタビュー		
	14:45-14:55	休憩		
6	14:55-15:40	imagePRESS1135 シリーズの搭載技術とモノクロ POD 市場	山本武男	キヤノン
7	15:40-16:25	品質と生産性を高めた iGen4 の新規技術について	箕田 淳	富士ゼロックス
	16:25-16:40	オーサースインタビュー		

デジタル印刷とは

「印刷業界では、生産機とみなせる性能を備えたプリンタをデジタル印刷機と呼んでいます（JAGAT 参事 相馬様）」シンポジウム企画のためにJAGAT を訪問した電子写真部会の技術委員の面々に対して、相馬様は開口一番にこう説明されています。一方で「プロダクションプリンティング」というのは、複写機業界で作られた言葉。ここから既に視点が違っていたのだと思い知りました。今回のシンポジウムでは、この「デジタル印刷」という言葉の意味を噛み締めながら企画いたしました。まだまだ思い違いの面もあるかもしれませんが、このシンポジウムをきっかけにして更に理解を深めていけるものと期待いたします。

参加登録について

今回のシンポジウムでは、参加者の**事前登録**を実施致します。下記の「**参加登録票**」の書式に従い、必要事項を e-mail 本文にご記入の上、**11月18日（水）**までに下記メールアドレスへ送信してください。

事前登録をされた方には当日、予稿集（冊子）に加えて予稿集の電子データを収録した CD-ROM を差し上げます。

参加費は、当日受付にてお支払下さい。

維持会員会社は維持会員証 1 枚につき 1 名が会員価格となります。

当日、正会員証、維持会員証、学生証を必ずご持参ください。

協賛学会の方は、協賛学会の会員であることを証明できるものをご持参下さい。

会場の収容人数より定員を200名としております。定員を超えますと参加をお断りする場合がございますので悪しからずご了承ください。

参加登録票

メール本文に下記の内容をご記入ください。

シンポジウム「先進のデジタル印刷ビジネスとプリント技術」
氏名：
所属：
資格：正会員／維持会員／協賛会員（ ）／学生／非会員
会員番号：
伝言等：

「資格」は該当するもののみを残してそれ以外は削除してください。

当学会の方は会員番号を、維持会員で参加の方は維持会員証番号をご記入ください。

件名を「シンポジウム事前登録」として、event@isj-imaging.org までお送りください。

企画運営 技術委員会電子写真技術部会

発明会館ホール案内図

住所 東京都港区虎ノ門2-9-14
電話 03-3502-5499 FAX 03-3595-2763
URL <http://hatsumeikaikan.com/>
交通 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅 3番出口 徒歩5分
地下鉄「霞ヶ関」駅 A13番出口 徒歩13分



ウェブサイトのご案内

本シンポジウムの最新情報は、下記の URL からご覧いただけます。

http://www.isj-imaging.org/event/symposium/symp_2009/2009_symp_tokyo.html
講演概要（アブストラクト）を掲載しておりますので、ご参照ください。

ご要望をお寄せください

電子写真技術部会では、会員の皆様のニーズに応えられるよう、今後とも、タイムリーなテーマを取り上げ、シンポジウム、研究会等を企画、開催してまいります。シンポジウムへのご意見ご要望を歓迎いたします。お近くの委員、または学会事務局へお気軽にご連絡ください。



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

東京工芸大学内

Tel: 03-3373-9576

Fax: 03-3372-4414

E-mail: info@isj-imaging.org

URL: <http://www.isj-imaging.org/isj.html>